

議事録

件名	令和7年度滋賀プラス・サイクル推進協議会
日時	令和7年7月30日（水） 9:30~11:30
場所	滋賀県北新館5-B会議室（オンライン併用開催）

1. 開会

稲永副会長から御挨拶。

- ・協議会が発足して約13年たち、発足当初のことを考えると自転車を取り巻く環境は大きく変わっている。特に、2016年に、国で自転車活用推進法が制定され、全国的に自転車に関する取組が盛んになっている。観光面では、2018年に、国でナショナルサイクルートの制度が始まった。
- ・県では、ビワイチの推進に市町や関係者の皆様が熱心に取り組んでおり、2019年にナショナルサイクルートの第1号に認定された。また、2022年にはビワイチ推進条例が制定され、ビワイチや自転車の推進に取り組んでいる。発足当初と比べると、発展してきている。
- ・本日の議題にもある、プラスサイクル推進プランを推進するために、協議会が発足された。観光だけでなく、日常にも自転車を利用していくという両方の柱をもって、目標に環境のため、健康のため、人が暮らしやすくなる人に優しいまちづくりの目的が挙げられている。発足当初の思い等を振り返る必要がある。皆様と情報共有・協力しながら進めてまいりたい。

2. 議案

(1) 副会長および監事の選任について

事務局から、以下のとおり推薦。

- ・ 副会長：歴史街道推進協議会 広報部 課長 稲永さま（継続）
立命館大学理工学部 教授 小川さま（継続）
- ・ 監事：彦根市交通政策課 課長 成田さま
西日本旅客鉄道株式会社 京滋支社地域共生室 室長 池田さま
→異議なし【可決】

(2) 令和6年度事業報告・収支決算、令和7年度事業計画・収支予算について

事務局から資料1、資料2、資料3、資料6、資料7を用いて説明。

→委員から意見・質問。異議なし【可決】

(3) 滋賀プラス・サイクル推進協議会財務規程の改正について
事務局から資料4を用いて説明。
→委員から意見・質問なし。異議なし【可決】

(4) プラス・サイクル推進プランの更新について
事務局から資料5を用いて説明。
→委員から意見・質問。異議なし【可決】

3. その他報告事項

(1) 自転車の関係する交通事故の発生状況について
滋賀県警察本部交通企画課から参考1を用いて説明。
→委員から意見・質問なし。

(2) ビワイチ走行空間の整備状況について
滋賀県土木交通部道路保全課から参考2を用いて説明。
→委員から意見・質問。

委員	ビワイチルートが整備されて、走りやすくなっているが、当初より悪くなっているところがある。 南湖の湖西側(低速コース)が山沿いのルートに変更されたことで、非常にアップダウンがあり、初心者が走りにくい。本当に国の要件に合っているのかとってしまう。 また、湖西ルートでは湖西道路側道の右側を走るルートがあり、危険な状況がある。また、交差点付近で何度も自転車を押すことを強いられるところもある。 さらに、堅田の街なかを通るルートが街外れを通るようになり、魅力が下がった。むしろ、街なかに誘導した方が消費等が期待できる。 南湖の湖西側について、その辺りを検討していただきたい。
事務局	過去、ルートが悪くなったということについては、サイクリスト目線では街なかの方が良いという考えだが、生活道路を避けるべきという国の要件がある。 他については、ルートを変更できるか検討したい。

(3) 「ビワイチの日」について

滋賀県商工観光労働部ビワイチ推進室から参考3を用いて説明。

→委員から意見・質問なし。

4. 意見交換

(1) プラス・サイクル推進プランにかかる取組について

→滋賀県交通戦略課から参考4を用いて冒頭説明。以降、意見交換の時間とした。

事務局	まず本照会にご協力いただき感謝。毎年プランの活動の進捗を委員同士で確認し、委員同士で連携した取組を行うため、意見交換の場を設けさせていただいた。
委員	<p>プラスサイクル推進プランの内容の改定は必要。ビワイチの推進と自転車の優遇を中心に改定していくのが良い。</p> <p>①ビワイチ推進 ビワイチ推進という考え方が、まだ無かった時代に作られたため、ビワイチについては軽く触れている程度で、滋賀県の現況に即していない。そのため、ビワイチに重きを置いて、自転車利用を広げていくような内容に書き換える必要があると考える。</p> <p>②自転車の優遇 13年前の策定当初は、世間一般の自転車に対する認識があまり進んでいなかったが、世界・日本の状況が変化してきて、自転車に対する理解が進んできている。 13年前の状況では、イベントを実施する時に車や公共交通と同じように自転車を考えていこうという内容になっていた。ただ、状況が変化してきて、それだけでは駄目だということになっている。 例えば、車と自転車を同等に考えると、人は車を利用する。そうではなく、車より自転車を利用した方が便利になるまちづくりを進めていく必要がある。</p>

5. その他

無し

6. 閉会